

第7章 将来ビジョンのまとめ

7.1 主な事業取組と効果のまとめ

表 7.1.1 主な事業取組と効果のまとめ

基本方針	具体的方策	方策の効果
【安全】 ★水道水の安全性確保	◆水質管理の充実 <ul style="list-style-type: none"> 水質監視局の適切な更新 水安全計画に基づく水質管理体制の継続 河南水質管理ステーションの運用拡充の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 「水安全計画」に基づく水質管理体制を継続することで、水質面のリスクが軽減され、安全性の向上とともに、管理方法や優先順位が明らかになることによって、水質管理水準の向上が図れる。また水質面のリスクを把握、評価することで水質管理の一元化・統合化が図れる。 適切な水質管理によって「安全でおいしい水」の供給を維持することができ、水道水質に対する利用者ニーズの高まりに対応することができる。
	◆水需要の減少を考慮した水道施設の再構築 <ul style="list-style-type: none"> 浄水場、配水場の再整備 	
【強靱】 ★確実な給水の確保	◆基幹となる施設の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> 配水施設の耐震化整備 基幹となる管路の耐震化整備の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 配水施設、基幹管路の耐震化整備により、地震災害等非常時の相互融通と断水被害の抑制が可能となり、災害に強い水道が実現できる。 ダウンサイジングを考慮した計画的な管路・浄配水場の構築物・設備の更新により、更新投資額の抑制及び規模の適正化を図ることができる。 応急復旧体制、応急給水体制の強化及び応急給水拠点の機能整備により、災害時に重要給水施設・避難所への給水が確保可能となる。 災害時においても安定した水道施設の監視制御（運用）が可能となる。 受水系統の2系統化により、事故時の断水リスク軽減につながる。
	◆水道施設の計画的更新 <ul style="list-style-type: none"> アセットマネジメント手法の活用による老朽化施設の更新の継続 阿保浄水場の適正な更新、天美我堂配水場のダウンサイジングの検討 ダウンサイジングを踏まえた老朽管の計画的更新 	
	◆応急給水対策・給配水運用基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> 応急復旧・応急給水体制の強化 応急給水拠点の機能整備 中央監視設備の運用（給配水運用基盤の強化） 松原ポンプ場稼働に伴う2系統受水の運用 	
	◆広域的連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> 広域的連携の強化 水平連携の推進 	
【持続】 ★持続可能な事業運営	◆財政の健全化 <ul style="list-style-type: none"> 施設更新基準の見直し 水道施設の点検・調査の強化 水道料金収入の確保 適正料金の研究 資産の整理 	<ul style="list-style-type: none"> 更新基準の見直し、点検・調査の強化、適正な料金水準の維持をしていくことで、水道事業経営の健全化につながる。 組織体制・業務を効率化することにより安定した事業運営が可能となる。 SNS等による適切な情報提供、窓口サービス、水飲み場整備、水道用地の有効活用による多目的広場の解放などにより、水道事業に関心を高め、水道に対する満足度の向上が図れる。
	◆組織・業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> 業務の効率化 人材育成と効率的な組織体制の確立 	
	◆住民への情報提供とコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> SNS等の活用による情報提供 出前講座等の実施の継続 窓口サービスの充実 市内小中学校の水飲み場設備の整備 松原ポンプ場の上面利用 	

7.2 「松原市新水道ビジョン」のまとめ

第1章 策定に当たって

✦ 主旨

本章は、「松原市新水道ビジョン」の策定の目的や計画の位置付け及び計画期間について示したものです。

✦ 新水道ビジョンの目的と計画期間

「松原市新水道ビジョン」は、本市水道事業は取り巻く環境の変化に対応していくため、水道関係者との連携のもと、将来を見据え、適正な水道料金による経営・投資の合理化を目指していきます。また、現行の松原市水道ビジョンの継続的な取り組みと併せて、基本方針（「安全」・「強靱」・「持続」）に則り、施設規模の最適化などの施策を行い、経営状況の可視化を踏まえて、事業を推進していくため、改訂するものです。

計画期間：令和2年度～令和11年度までの10年間

第2章 松原市水道事業の概要

✦ 主旨

本章は、第3章で示す「松原市水道事業の現状分析」に先立ち、本市水道事業の概要についてまとめたもので本市水道事業の成り立ちや新水道ビジョンと関連する他計画、水道施設の位置やフロー、施設規模等の概要について紹介したものです。

✦ 主な水道施設と概要

- ・企業団が淀川からの水を原水として取水し、高度浄水処理を行った浄水を送水管から分岐し、丹南浄水場、天美我堂配水場、阿保浄水場、松原ポンプ場の4箇所を受水しています。
- ・本市の主要な施設は、上記に示す4施設があり、阿保浄水場と丹南浄水場では、企業団水受水への100%切り替えにより、浄水施設は廃止しています。

第3章 松原市水道事業の現状分析

✦ 主旨

本章は、第4章に示す「取り組むべき方針」や第5章の「取り組むべき課題と具体的な方策」を立案する上で、3つの基本方針に則り、全体的な観点から問題点を抽出しています。ここでは、社会情勢と少子高齢化を背景とする水需要の減少と併せ、施設の老朽化などの水道施設面の問題、地震等に対する災害対策面の問題、適切な水質管理と安全でおいしい水の供給体制の継続といった水質管理面、さらには、水道料金収入の減少や更新費用の増大による資金力の低下などの水道経営・財政面の問題を抽出しています。

✦ 水道事業の現状の問題点

【水需要面】

水需要の減少に伴う施設能力の余剰による施設利用率の落ち込みを問題点として抽出しています。

【水道施設面】

施設の老朽化による事故等発生リスク、鑄鉄管（経年管）の残存による漏水発生リスクを問題点として抽出しています。

【災害対策面】

大規模地震等による水道施設や給水への影響が懸念され、管路を中心とした耐震化の継続的な取り組みの必要性について示しています。

【水質管理面】

水道水の安全性確保とおいしい水の供給の観点から、適切な水質管理体制と残留塩素濃度の低減化に向けた継続的な取り組みの必要性について示しています。

【水道経営・財政面】

水需要の減少に伴う水道料金収入の減少、更新費用の増大による資金力の低下、技術や経験の継承不足が問題点として挙げられます。

第4章 取り組むべき方針

✦ 主旨

本章は、ビジョンにおける事業を推進していくため、目標（理念、方針）を設定しています。

✦ 松原市新水道ビジョンの将来像（基本理念）と目標

基本理念：『市民のための水道』～安全で安心できる豊かな生活を次世代へ持続させる水道～

方針：安全（☆水道水の安全性確保）・強靱（☆確実な給水の確保）・持続（☆持続可能な事業運営）

第5章 取り組むべき課題と具体的方策

✦ 主旨

本章は、第3章で抽出した水道事業の問題点、第4章で設定した「安全」・「強靱」・「持続」の3つの方針との関連から松原市水道事業の将来的な施策の方向性とその具体的内容について示したもので、併せて施策の必要性（水道事業の課題や背景）やこれまでの取り組み、これからの取組、その効果についてまとめています。

✦ 松原市新水道ビジョンにおける主な方策と概要

○安全（☆水道水の安全性確保）

【具体的方策】

(1)水質管理の充実 (2)水需要の減少を考慮した水道施設の再構築

安全でおいしい水の供給のために、水安全計画に基づく水質管理体制の継続、水需要減少による水道水の滞留に伴う残留塩素濃度低下防止のため、天美我堂配水場のダウンサイジングなどに取り組んでいきます。

○強靱（☆確実な給水の確保）

【具体的施策】

(3)基幹となる施設の耐震化 (4)水道施設の計画的更新 (5)応急給水対策・給配水運用基盤の強化 (6)広域的連携の強化

災害に強い水道の実現のため、丹南浄水場と松原ポンプ場を結ぶ管路及び市内配水を補完する管路の耐震化整備を継続的に取り組んでいきます。また、水需要にあわせた管口径の減径や阿保浄水場配水池の機能維持の検討、天美我堂配水場の配水池のダウンサイジングなどに取り組んでいきます。さらに広域化への考え方の整理と連携のあり方の検討にも取り組んでいきます。

○持続（☆持続可能な事業運営）

【具体的施策】

(7)財政の健全化 (8)組織体制・業務の効率化 (9)住民への情報提供とコミュニケーション

持続可能な事業運営を推進していくためには、更新基準の見直し（長寿命化）、それに伴う点検・調査の強化に伴う投資的経費の低減、また水需要減少に伴う水道料金収入の減少の緩和に向けた施策の効果に伴う資金残高確保による、適正な料金水準を研究し、健全経営に努めていきます。あわせて資産の整理（阿保第2浄水場及び天美我堂配水場の一部を処分）を進めていきます。

SNS等による適切な情報提供、窓口サービス、水飲み場整備、水道用地の有効活用による多目的広場の解放などにより、水道事業に関心を高め、水道に対する満足度の向上を図っていきます。

また民間委託の拡大、それに伴う監督指導力の向上及び技術継承のため、両面でバランスのとれた人材育成を行い、効率的な組織運営の確立に努めていきます。

第6章 施策の実施体制と推進体制

✦ 主旨

松原市新水道ビジョンの推進のための関係者の役割分担とPDCAサイクルによるフォローアップについて示しています。

✦ 水道ビジョンの推進とフォローアップの方針

水道ビジョン推進のために、PDCAサイクルに基づき、計画の進捗状況や事業の実施効果などについて定期的に確認、評価しながら適宜改善していきます。